

# モールテックスカラーの下地、その準備について

## 下地の種類

### **鉱物下地**

モールテックスに一番相性の良い下地です。コンクリート、セメント、モルタル、天然石、ケイカル板など。板と板のつなぎ目は、通常の塗装施工で行うような目地処理を行って下さい。

### **木**

ベニヤは灰汁がでる危険性があるので、MDFを使うよう促して下さい。天板などでは18mm程度の厚さのものから使用してください。質の良い木は脂質が多く含まれているので注意し、事前に試験施工を薦めてください。板と板のつなぎ目は必ず寒冷紗などで補強して下さい。床暖房を木下地で行く際には、板を2層重ね貼りして、継ぎ目が重ならないようにして下さい（詳しくは滝田まで相談してください）。

### **金属、ガラス**

### **タイル**

骨材を含む粘性の高いプライマー「レジパクトG」を使用。乾燥時間は「レジデュール」と同じ6～8時間。目地跡が出る事が心配な際には、一層目の全面にネットを入れ、膜厚を若干厚め（1,5mm程度）で塗り、48時間乾燥させた後、2層目を塗り重ねてください。

## 下地準備

油污れ、埃、化学薬品、塗料などを取り除いてください。モールテックスカラーは2～2,5mm厚程度の薄塗りで仕上げるので、下地の凹凸があると表面に残ります。モルタルなどで下地をつくる際は金こてできちんと表面をならしてください。

塗布前に、下地が直射日光に長時間曝されていると、塗付けたネタの乾燥が早くなり、正常な膜の硬化を妨げる事故に繋がります。

## プライマー「レジデュール」を塗る際の留意点

### **レジデュールを下地に塗る目的：**

モールテックスカラーの接着を助け、ネタの水分を下地に吸い取られないようにすることが目的です。下地にネタの水分がとられてしまうと、初期硬化でセメントが焼き切れてしまい、膜が正常に硬化せず、ひび割れを起こす可能性があります。

### **レジデュールの塗り方：**

下地表面に、レジデュールの薄い均一な膜をつくるように塗る。消費量は平均で100～150ml/平米。刷毛、ローラー、噴霧器などで、下地が飽和状態になるまで染み込ませる。

水分の吸収の激しい下地には、2回塗りを行う。

一層目は50%清水で稀釈しつつ塗布。指触可能になるまで乾燥させたら、2層目は原液を、表面に若干膜が形成されるように塗付ける。

**注記：**下地の裏側や下側から水が染みでて来ると、レジデュールが溶けてしまい、結果モールテックスカラーの膜が剥がれてしまいます。漏水している壁や天井、防水されていない土間、屋外のテラス床などには塗れません。

